

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータ実習 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2025/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	山村 恭子
授業の概要				
・情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン演習を通し、パソコンの基本操作を学び、文書作成ソフト(Word)の操作と文書作成能力を養う				
授業終了時の到達目標				
・ Word文書処理技能認定試験3級(サーティファイ) 合格 ・ Wordを用いて簡単なビジネス文書を作成することができる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		【実務経験】山村 恭子 ・ 企業研修・国立大学・私立大学・専門学校・職業訓練校などでoffice全般指導 ・ 建築会社において営業事務兼CADオペレーターとして勤務(社内でofficeを使用しての表計算・社内・社外文書の作成・プレゼン資料の作成など)		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	・ 授業の目的、評価方法 Windowsの基本操作	※授業の目的と、評価方法の説明 Windowsの概要、基本操作(アプリ操作、エクスプローラ)について理解する		
2	2. 文字の入力と編集の基本操作 3. 文書の編集 4. 文書の印刷	文書の呼び出し、文字列のコピーと移動 ページの書式設定、文字の書式設定、字下げ、禁則処理、均等割付 ヘッダーとフッターの設定、印刷イメージの確認方法		
3	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題2、4の問題1と問題2部分の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する		
4	3. 文書の編集 5. 文書の作成 6. 表を使った文書の作成	罫線と網かけ 段落番号、箇条書き、インデント、タブ設定 表の作成、表の編集、表の装飾		
5	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題2、4の問題3と問題4(図形や画像抜いた)部分の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する		
6	7. 図形や画像を使った文書の作成	図形の作成、図形の編集、画像の挿入、横書きテキストボックスの挿入、ワードアートの挿入 ヘッダーやフッターへの図形や画像、ワードアートの挿入		
7	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題2、4の問題4(図形と画像部分)と問題5部分の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する		

回	テーマ	内容		
8	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
9	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題2の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
10	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題3の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
11	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題4の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
12	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題5の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
13	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題6の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
14	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題7の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
15	Word文書処理技能認定試験3級問題集 3級サンプル問題の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Wordクイックマスター2016基本編(ウィネット) 2016対応Word文書処理技能認定試験3級問題集(サーティファイ)		確認テスト 課題・レポート 出席率	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サービス接遇講座 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	三村 梨恵
授業の概要				
サービス接遇検定3級取得のための勉強を通して、社会人として必要なマナー・接客スキルを身につける 接客の基礎を学ぶことによって、ペットショップスタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得する お客さま心理を理解することによって、他人へ配慮する気持ちを身につける				
授業終了時の到達目標				
サービス接遇検定3級合格 社会人として必要な基礎的マナーを身につけ、使用できる お客様の心理を理解することができる 他人への配慮を理解し、実践できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年 トリマーとして18年の実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。		
時間外に必要な学修				
買い物や外食した際にスタッフの様子を観察し、良いものは取り入れる、悪いものは自分への教訓とする 保護者や年長者と話して、社会についての知識を得る ニュースを見る習慣をつける アルバイトをしている場合は、授業で学んだことをアウトプットする場とする				
回	テーマ	内容		
1	授業内容オリエンテーション 検定概要について	授業の目的 検定概要 授業の進め方について 評価方法について 準備物について 接客を学ぶ意義		
2	I サービススタッフの資質	(1) 必要とされる要件 ①明るさと誠実さを、備えている		
3	I サービススタッフの資質	(1) 必要とされる要件 ②適切な判断と表現ができる ③身だしなみを心得ている		
4	I サービススタッフの資質	2) 従業条件 ①良識を持ち、素直な態度がとれる ②適切な行動と協調性のある行動を、取ることができる		
5	I サービススタッフの資質	過去問題 I サービススタッフの資質		
6	II 専門知識	(1) サービス知識 ①サービスの意義を、一応、理解できる ②サービスの機能を、一応、理解できる ③サービスの種類を知っている		
7	II 専門知識	(2) 従業知識 ①商業用語、経済用語が理解できる 過去問題		

回	テ ー マ	内 容
8	Ⅲ一般知識	(1) 社会常識 ①社会常識が理解できる ②時事問題を、一応、理解できる 過去問題
9	Ⅳ対人技能	(1) 人間関係 ①一般的に、人間関係が理解できる
10	Ⅳ対人技能	(2) 接遇知識 ①対人心理が理解できる ②一般的なマナーを心得ている
11	Ⅳ対人技能	②一般的なマナーを心得ている
12	Ⅳ対人技能	②一般的なマナーを心得ている
13	Ⅳ対人技能	②一般的なマナーを心得ている
14	Ⅳ対人技能	②一般的なマナーを心得ている
15	Ⅳ対人技能	③接遇者としてのマナーを心得ている

回	テ ー マ	内 容		
16	Ⅳ対人技能	③接客者としてのマナーを心得ている		
17	Ⅳ対人技能	(3) 話し方 ①接客用語を知っている		
18	Ⅳ対人技能	②接客者としての基本的な話し方が理解できる		
19	Ⅳ対人技能	③掲示、説明の仕方が理解できる (4) 服装 ①接客者としての適切な服装が理解できる		
20	Ⅳ対人技能	過去問題 Ⅳ対人技能		
21	Ⅴ実務技能	(1) 問題処理 ①問題処理について、理解できる		
22	Ⅴ実務技能	(2) 環境整備 ①環境整備について、理解できる		
23	Ⅴ実務技能	(3) 金品管理 ①金品の管理について、理解できる		
24	Ⅴ実務技能	(4) 社交業務 ①社交儀礼業務について、理解できる		
25	Ⅴ実務技能	過去問題 Ⅴ実務技能		
26	Ⅴ実務技能	過去問題 Ⅴ実務技能		
27	過去問題	Ⅰ サービススタッフの資質 Ⅱ 専門知識 Ⅲ 一般知識 Ⅳ 対人技能 Ⅴ 実務技能		
28	過去問題	Ⅰ サービススタッフの資質 Ⅱ 専門知識 Ⅲ 一般知識 Ⅳ 対人技能 Ⅴ 実務技能		
29	期末テスト	Ⅰ サービススタッフの資質 Ⅱ 専門知識 Ⅲ 一般知識 Ⅳ 対人技能 Ⅴ 実務技能		
30	期末テスト解説	Ⅰ サービススタッフの資質 Ⅱ 専門知識 Ⅲ 一般知識 Ⅳ 対人技能 Ⅴ 実務技能		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
サービス接客検定3級公式テキスト タブレット		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サービス接遇講座Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2025/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	三村 梨恵
授業の概要				
サービス接遇検定2級取得のための勉強を通して、社会人としての必要なマナー・接客スキルを身につける 接客の基礎を学ぶことによって、ペットショップスタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得する お客様心理を理解することによって、他人へ配慮する気持ちを身につける				
授業終了時の到達目標				
サービス接遇検定2級合格 社会人として必要な基礎的マナーを身につけ、使用できる お客様心理を理解し、それに合わせた対応ができるようになる 他人への配慮を理解し、実践できる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年 トリマーとして18年の実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業を行う		
時間外に必要な学修				
買い物や外食した際にスタッフの様子を観察し、良いものは取り入れる、悪いものは自分への教訓とする 保護者や年長者と話して、社会についての知識を得る ニュースを見る習慣をつける アルバイトをしている場合は、授業で学んだことをアウトプットする場とする				
回	テーマ	内 容		
1	I サービススタッフの資質	(1) 必要とされる要件 ①明るさと誠実さを、備えている。 ②適切な判断と表現ができる。		
2	I サービススタッフの資質	(1) 必要とされる要件 ③身だしなみを心得ている。 (2) 従業要件 ①良識を持ち、素直な態度が取れる。 ②適切な行動と協調性のある行動を、取ることができる。 ③清潔感について、理解できる。		
3	I サービススタッフの資質	(2) 従業要件 ④忍耐力のある行動を、取ることができる。		
4	I サービススタッフの資質	過去問題 I サービススタッフの資質		
5	Ⅱ 専門知識	(1) サービス知識 ①サービ意義を理解できる。 ②サービスの機能を理解できる。 ③サービスの種類を理解できる。(
6	Ⅱ 専門知識	(2) 従業知識 ①商業活動、経済活動が理解できる。 ②商業用語、経済用語が理解できる。		
7	Ⅱ 専門知識	過去問題 Ⅱ 専門知識		
8	Ⅲ 一般知識	(1) 社会常識 ①社会常識がある ②時事問題を理解している		

回	テ ー マ	内 容
9	Ⅲ一般知識	過去問題 Ⅲ一般知識
10	Ⅳ対人技能	(1) 人間関係 ①人間関係の対処について、理解がある
11	Ⅳ対人技能	(2) 接客知識 ①顧客心理を理解し、能力を発揮することができる
12	Ⅳ対人技能	②一般的なマナーを発揮できる
13	Ⅳ対人技能	③接客者としてのマナーを発揮することができる
14	Ⅳ対人技能	(3) 話し方 ①接客用語を知っている
15	Ⅳ対人技能	②接客者としての話し方ができる

回	テーマ	内 容		
16	IV対人技能	③掲示、説明ができる ④ 服装 ①接客者としての適切な服装ができる		
17	IV対人技能	過去問題（選択問題）		
18	IV対人技能	過去問題（記述問題）		
19	V実務技能	(1) 問題処理 ①問題処理について、対処できる (2) 環境整備 ①環境整備について、対処できる		
20	V実務技能	(3) 金品管理 ①金品の管理について、能力を発揮できる		
21	V実務技能	(4) 金品輸送 ①送金、運搬について、理解できる		
22	V実務技能	(5) 社交業務 ①社交儀礼の業務について理解し、処理できる能力がある		
23	V実務技能	過去問題		
24	V実務技能	過去問題		
25	過去問題	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV対人技能 V実務技能		
26	過去問題	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV対人技能 V実務技能		
27	過去問題	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV対人技能 V実務技能		
28	過去問題	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV対人技能 V実務技能		
29	期末テスト	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV対人技能 V実務技能		
30	期末テスト解説	I サービススタッフの資質 II 専門知識 III 一般知識 IV対人技能 V実務技能		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
サービス接客検定2級公式テキスト タブレット		期末試験	100.0%	検定結果を期末の 代わりにします。

回	テ ー マ	内 容		

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
犬種標準学 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
講義				
日本で飼われている種類を抜粋し生態、外観、飼育方法を身につける				
授業終了時の到達目標				
犬の種類や特徴を知り訓練や販売や看護の仕事で役にたつようにする 犬の生態を知ることによって扱いに気を配ることができる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマー、ブリーダー、ハンドラーとして28年常にお客様から受ける相談をもとに授業をすすめる。		
時間外に必要な学修				
グルーミング実習時に担当した犬種をよく観察すること				
準備学習				
回	テーマ	内容		
1	なぜ犬の種類ができたのか	犬の種類がなぜ増えていったのかを説明する		
2	犬の体を知ろう	犬の部位名称や歯列やかみ合わせの説明		
3	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	第1グループに属する犬種の特徴と各犬種の特徴 オーストラリアン・シェパード・ボーダーコリー		
4	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	ウエルシュ・コーギーペンブローク ウエルシュ・コーギーカーディガンの違いの説明		
5	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	ジャーマンシェパードの説明 シェパードの歴史と牧羊犬の役割の解説		
6	第1グループ犬種説明と各犬種の説明	ラフ・コリーとスムース・コリー、シエルティの解説 作出に関しての歴史の説明		
7	第2グループ犬種説明と各犬種の説明	大型犬の作出の歴史を説明 グレート・ピレニーズの解説		
8	第3グループ犬種説明と各犬種の説明	テリアの特徴の説明と ジャックラッセルの説明		
9	第3グループ犬種説明と各犬種の説明	ウエストハイランドホワイトテリア スコティッシュテリア 短脚テリアのまとめ		
10	第3グループ犬種の説明 各犬種の説明	長脚テリアの特徴の説明 種類の解説 管理方法		
11	第3グループ犬種の説明 各犬種の説明	ヨークシャテリアの説明 それに影響された犬種の説明		
12	第3グループ犬種の説明 各犬種の説明	ワイヤーフォックステリア説明		
13	小テスト	期末試験までの準備のため		
14	期末試験のためのおさらい			
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テ ー マ	内 容	
最新犬種図鑑		期末試験	100.0%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
犬種標準学Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2025/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
講義 犬種の特徴を知り、訓練、美容、看護の分野で役に立つようにする				
授業終了時の到達目標				
犬の特徴を知りお客様の相談に対応できるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマー、ハンドラー、ブリーダー歴28年の経験から日頃お客様と対応する内容をもとにアドバイスができる		
時間外に必要な学修				
実習関連時に犬をよく観察すること				
回	テーマ	内容		
1	第4グループ犬種説明	ダックスフンドの特徴と沿革の説明		
2	第5グループ犬種説明と各犬種の解説	シベリアンハスキーとアラスカンマラミュートの違い		
3	第5グループ犬種説明と各犬種の解説	ポメラニアンや他のスピッツタイプの説明		
4	第5グループ犬種説明と各犬種の解説	日本犬の特徴と説明		
5	第6グループ犬種説明と各犬種の解説	ビーグルなどの説明		
6	第6グループ犬種説明と各犬種の解説	ダルメシアンの特徴		
7	第7グループ犬種説明と各犬種の説明	セターとワイマラナーの説明		
8	第8グループ犬種説明と各犬種の説明	アメリカン・コッカーの説明		
9	第8グループ犬種説明と各犬種の説明	スパニエル系のまとめ		
10	第8グループ犬種説明と各犬種の説明	レトリバー系のまとめ		
11	第9グループ犬種説明と各犬種の説明	プードルの説明		
12	第9グループ犬種説明と各犬種の説明	チワワキャバリアなどの説明		
13	小テスト	期末試験の準備		
14	第10グループ犬種説明と各犬種の説明	サイトハウンドの特徴		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テーマ	内容	
最新犬種図鑑		期末試験	100.0% 準備学習 次にする犬種をイメージするために 本を読んでおく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ペット美容学 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀

授業の概要

講義

犬の毛や手入れの基礎を知り
犬の管理を学ぶ

授業終了時の到達目標

2年次トリマー3級合格のため
お客様の犬の手入れができるようにする

実務経験有無

実務経験内容

有

トリマー、ブリーダー歴28年の経験か
犬の管理でよく困ったことなどをもとに
学生のロールモデルとなること

時間外に必要な学修

グルーミング実習に反映させること

回	テーマ	内容
1	なぜ美容が必要か	犬に対して何が必要かを説明する。
2	クリップ名称の説明	トリミングの形や基本的な用語の説明
3	犬の皮膚の構造	犬の皮膚がどうなっているのかを説明する
4	犬の被毛について説明	犬の被毛がどうなっているのか 犬種によって
5	シャンプーについて	シャンプーの種類の説明
6	シャンプーについて2	どのような犬にどのタイプのシャンプーを選んだらよいかの説明
7	ドライヤーについて	ドライヤーの使用方法和目的
8	バリカンについて	バリカンの種類から使用方法の説明
9	プードルのバリカンに入れ方	プードルのバリカンの入れ方といれる意味の説明
10	小テスト	期末試験の準備
11	プードルのトリミングの基礎をしる	トリミングの基礎としてプードルの種類とペットクリップの形をしる
12	プードルのスタンダードの絵描き	プードルの理想に近い絵がかけるようになる。
13	ケネル&ラムのトリミングの説明	トリミングの説明
14	ケネル&ラムのトリミング説明	

回	テ ー マ	内 容		
15	期末試験			
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	ドッググルーミングマニュアル	期末試験 出席率	90.0% 10.0%	実習の前に授業内容を常に確認すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
グルーミング実習BASIC I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2025/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	必須	森, 野崎, 北村, 糸瀬, 三村
授業の概要				
グルーミングに必要な犬の扱いと、美容用具の扱い方を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
正しい作業方法を覚える(ブラッシング、ベイジング、ドライイング、爪切り、耳そうじ、クリッピング、足回り)				
実務経験有無	実務経験内容			
有	【実務経験】	吉本真紀 トリマーとして36年 森 純子 トリマーとして19年 三村梨恵 トリマーとして17年 北村俊也 トリマーとして5年 野崎真優 トリマーとして4年 糸瀬春奈 トリマーとして3年	豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる	
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	導入	実習における注意事項を説明 道具の種類および使用方法を説明 グルーミングの作業の流れを説明		
3~23	基礎	シザーの持ち方・開き方を学ぶ ブラッシング・ベイジング・ドライイング・爪切り・耳そうじの方法を学ぶ		
24	シザーテスト(第一回)	シザーの持ち方・開き方・開く角度を採点		
25~43	基礎	引き続き、ブラッシング・ベイジング・ドライイング・爪切り・耳そうじの方法を学ぶ クリッパーの使い方を学ぶ		
44	シザーテスト(第二回)	開閉速度・耐久力・正確さを採点		
45	基礎	グルーミング作業の復習とスピードアップ シザーテスト合格者から足回りのカットを学ぶ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	
グルーミング実習BASICⅡ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2025/後期	実習	
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分	45回	3単位(90時間)	必須	森, 野崎, 北村, 糸瀬, 三村	
授業の概要					
グルーミング作業(ブラッシング・ペイジング・ドライイング・爪切り・耳そうじ・クリッピング・足回り)を学ぶ					
授業終了時の到達目標					
1人でグルーミング作業をできるようになる					
実務経験有無		実務経験内容			
有		【実務経験】	吉本真紀 トリマーとして36年	森 純子 トリマーとして19年	三村梨恵 トリマーとして17年
			北村俊也 トリマーとして5年	野崎真優 トリマーとして4年	糸瀬春奈 トリマーとして3年
豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる					
時間外に必要な学修					
回	テーマ	内容			
1~10	基礎の復習	グルーミング犬種を中心に実習を行い前期に学んだ基礎の復習を行う			
11~20	基礎と応用	基礎の復習 犬種やサイズ、被毛の状態に合わせた作業方法の応用			
21~45	作業速度の向上と犬種別の対応	二人ペアで行っていた作業を一人でどのような犬種でも作業ができるようになる 全作業のスピードアップ(時間を意識して作業を行う)			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
最新ドッググルーミングマニュアル		実習・実技評価	100.0%		

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護学 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	齋藤 小百合
授業の概要				
動物を取り扱う仕事に就く上で必要となる救命救急や消毒、健康管理法などの動物看護についての知識を座学、実習を通して学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
動物の異常所見の早期発見、救急時の対処法を理解し、実践することができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として7年の実務経験。これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する。		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	動物看護学概論	動物を扱う仕事に就く上で動物看護がどのように必要となるかを学ぶ。		
2	フィラリア症について	犬にとって気をつけなければいけないフィラリア症について学ぶ		
3	狂犬病について	人獣共通感染症である狂犬病について学ぶ		
4	混合ワクチンについて①	犬猫の感染症予防で用いられるワクチンについて学ぶ		
5	混合ワクチンについて②	犬猫の感染症予防で用いられるワクチンについて学ぶ		
6	救命救急①	救命時の対処法を学ぶ(チアノーゼ)		
7	救命救急②	救命時の対処法を学ぶ(熱中症)		
8	救命救急③	救命時の対処法を学ぶ(創傷/切り傷)		
9	救命救急④	救命時の対処法を学ぶ(跛行)		
10	救命救急⑤	救命時の対処法を学ぶ(発作)		
11	動物看護実習①	実習を通して動物の状態把握の方法を学ぶ		
12	動物看護実習②	実習を通して動物の状態把握の方法を学ぶ		
13	動物看護実習③	実習を通して動物の状態把握の方法を学ぶ		
14	動物看護実習④	実習を通して動物の状態把握の方法を学ぶ		
15	期末試験	期末試験を実施する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テ ー マ	内 容	
	トリマーのためのベーシック獣医学	期末試験 出席率	80.0% 20.0%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物飼養管理学 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2025/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
動物関係法令や動物愛護運動史、適正な飼養・健康管理、各種動物の飼養管理、犬の繁殖学等の知識を体系的に修得・普及する指導員を養成する。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・JKC愛犬飼養管理士の取得 ・ペットの習性や正しい飼い方、動物関係法令、動物愛護の精神などの知識を身に付ける 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トリマーとして20年の実務経験。これまでの経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1~2	第1章 動物愛護	1. 日本における動物愛護の歴史 2. 日本の動物愛護の現状 3. 世界の動物愛護の現状		
3~6	第2章 動物愛護のための法律知識	動物の愛護及び管理に関する法律の歴史・内容		
7	第3章 適正な飼育管理	1. 飼い主として果たすべき責任 2. 住宅密集地での犬の飼育 3. 集合住宅での犬の飼育		
8~10	第4章 適正な健康管理	1. 健康管理 2. 栄養と食事 3. 感染症と予防接種(実生中)		
11	第5章 犬の繁殖学	1. 健康な犬の繁殖 2. 繁殖家の守るべき心得 3. 犬の繁殖整理		
12~13	第6章 犬学	1. 犬の歴史学 2. 犬の素晴らしい能力、犬の五感 3. 犬の生態		
14~15	第7章 猫、その他の動物	1. 猫 2. ウサギ 3. ハムスター		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛犬飼育管理士教本		期末試験	100.0%	【事前学習】前回の授業内容を復習し、次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物行動学		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	藤原 あかね
授業の概要				
動物、おもに犬についての生態、行動を学び理解する。				
動物と人間がいかに共存できるか学習する。				
授業終了時の到達目標				
動物の行動習性について正しい知識を学ぶことができる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~ 2	生得的行動・習得的行動	遺伝・行動・学習ができる		
3~ 4	パブロフの犬	条件付け・古典的条件付け・条件反射・無条件反射ができる		
5~ 6	オペラント条件付け	イルカトレーニング・クリックートレーニングができる		
7~ 9	犬の五感	臭覚・視覚・聴覚・触覚・味覚を知る		
10~ 12	ホルモンと行動	去勢・避妊を知る		
13~ 15	愛護	パピーミル・殺処分・子犬の流通システムを知る		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		期末試験 出席率	90.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
しつけトレーニング実習Ⅰ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2025/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	藤原 あかね
授業の概要				
犬の社会化を身につける。				
授業終了時の到達目標				
トイレのしつけができる・社会に慣れさせることができる・飼い主とのコミュニケーションがとれるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして35年の実務経験。 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルになること		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1～5	犬の社会科について	犬の社会科について考え、学ぶ		
6～10	トイレの教え方	失敗しないためのトイレの教え方を学ぶ		
11～15	アイコンタクト	目と目を合わせることで信頼関係を築く		
16～20	クリッカーについて	クリッカーの使い方を学ぶ		
21～25	シェーピングについて	動物に行動を科学的に教える		
26～30	呼んでくる	招呼を学ぶ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
しつけトレーニング実習Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2025/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	藤原 あかね
授業の概要				
担当犬と信頼関係を築く				
授業終了時の到達目標				
C級試験に合格する				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして35年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~10	脚側行進	一緒にあるく		
11~30	招呼	呼ぶ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アジリティ実習 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2025/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
色々な障害物をクリアさせる。				
授業終了時の到達目標				
簡単なハードル、トンネルをのーリードでクリアすることが出来るようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		トレーナーとして35年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	障害の説明	色々な障害物の名前を覚える		
2	道具の組み立て方	様々な道具の組み立て方を覚える		
3~ 5	ハードルを飛ぶ	ハードルの飛ばせ方を覚える		
6~ 8	難しいハードルを飛ぶ	難易度のハードルの飛ばせ方を覚える		
9~ 11	トンネルをくぐる	トンネルのくぐらせ方を覚える		
12~ 15	ハードルとトンネルの簡単なコースをクリアする	ハードルとトンネルを使った簡単なコースを完走させる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アジリティ実習Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2025/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
遠隔で犬と人が意思を通じ合わせる 簡単なアジリティを知る				
授業終了時の到達目標				
簡単なコースを走れる				
実務経験有無	実務経験内容			
有	トレーナーとして35年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~7	スラローム初級	スラローム 初級レベルができる		
8~14	ハードル中級	ハードル 中級レベルができる		
15~21	ハードルとトンネル	ハードル 中級レベルができる トンネル		
22~30	簡単なコースを走る	簡単なコースを走れるようになる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		実習・実技評価	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ドッグトレーニング概論Ⅰ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2025/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
座学 トレーニングの基礎を犬の生態含めて理解する				
授業終了時の到達目標				
犬と人の共生推進協会主催 家庭犬しつけインストラクター検定C級				
実務経験有無		実務経験内容		
有		警察犬訓練所で5年働いた経験をいかし 学生のロールモデルとなること		
時間外に必要な学修				
座学の内容を実技に反映させること				
回	テーマ	内容		
1	犬体用語の理解	試験で使用される用語を知る		
2	トレーニング用語の理解	試験で使用される用語を知る		
3~ 4	犬の習性の理解	犬の習性を理解し犬と向き合う大事さを知る		
5	問題行動の現状	問題行動とはどんなことか		
6~ 8	問題行動の対処の仕方	よくある問題行動の対処の仕方を知ろう		
9~ 10	預かり犬のトレーニングプログラム	トレーニングの順番を学ぼう		
11~ 12	クライアントに対してのマナー	クライアント(飼い主)に対してのマナー		
13~ 14	過去問題及び模擬問題の解説	ライセンス試験に向けて勉強		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKCトレーニングマニュアル		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ハンドリング学Ⅰ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2025/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
座学、実技 ドッグショーのルールを知り担当犬と試験に合格できるようにトレーニングする				
授業終了時の到達目標				
JKCハンドラーC級取得 犬の特徴を生かしてトレーニングすることができる。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	ハンドラー歴28年をいかし 犬の気持ちを知り動かすノウハウを伝授する			
時間外に必要な学修				
常に担当犬とスキンシップをとり 犬との距離を縮めること				
回	テーマ	内容		
1	ハンドリングとはなにか	ドッグショーの仕組みと試験内容の説明		
2	試験の内容	試験のルールの説明をする		
3	実技リードの使い方	正しい犬のリードのかけ方を犬を使って説明する		
4~5	ハンドリング中の正しい姿勢の取り方	犬に静止させるときの正しい指導種の姿勢の形を説明する		
6~7	犬とコミュニケーションの取り方	犬と仲良くなるための方法を説明し実際にやってみる		
8~15	試験内容の練習	ハンドラーC級の試験内容に基づいた項目を担当犬と繰り返し練習する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKCハンドリングマニュアル		期末試験	100.0%	事前学習 犬と常にスキンシップをとる

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ドッグケア学		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
仔犬から老犬まで犬の生涯にわたってのケアを把握する 飼い主のためにいつでも相談できるようにする				
授業終了時の到達目標				
ドッグコンシェルジュになれるように 知識を身につけることができる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		犬の仕事について20年以上の経験から、飼い主から相談にのることが多い。 その経験を活かし学生のロールモデルになること		
時間外に必要な学修				
自分の担当犬のおきかえて 日々観察すること				
回	テーマ	内容		
1	仔犬を飼う	仔犬を飼うために気を付けることや準備を知ることを知る		
2	仔犬の環境作り	環境づくりがしつけにかかわることを知る		
3	仔犬の成長に関して	仔犬の心の成長を知り行動の意味を知る		
4	ハウスの必要性	ハウスがしつけや今後の生活のための必要なことを知る		
5	食事の与え方	食事は生きていくために重要であるがしつけにおいても重要であることを知る		
6	トイレについて	トイレをどうやって教えるのか犬の生態を含めて教える		
7	トレーニングの始め方	家に来た日からトレーニングが始まる どのように始めるかを知る		
8	反抗期の対処の仕方	家に来て2か月くらいすると犬の反抗期がくる その時期の乗り切り方を知る		
9	お手入れの必要性	お手入れがしつけの面で必要であることを知る		
10	病気の早期発見	病気の早期発見を知り飼い主さんの心の負担を減らす 方法を知る		
11	仔犬が成長してから老年期までの過ごし方	犬が年寄りと思うまでの間の気を付けることを知る		
12	老年期の判断	犬を年寄りと判断する内容を知る		
13	老年期について	老犬の飼い方環境について知る		
14	なくなった時のこと	愛犬が亡くなった時のことについて		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テ ー マ	内 容	
		期末試験	90.0%
		出席率	10.0%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/1年	2025/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	林 勇樹
授業の概要				
専門学校での学習の意味を理解し進路を決定する際に必要な知識とスキルを身につける				
授業終了時の到達目標				
自己PRや志望動機など履歴書に必要な項目を自ら考えて表現することが出来る 就職活動の進め方を理解し自主的に活動することが出来る				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
将来の就職先及び業界について企業研究を行っておく 「物の見方」「考え方」「行動の仕方」を意識的に前向きにして「気づくこと」を習慣化する				
回	テーマ	内容		
1	動機付け 社会人基礎講座で学ぶこと	動機付け 社会人基礎講座で学ぶことの解説 他の科目や社会に出てからの関連性の解説		
2	話の聴き方	聞く耳を持つことが成長につながることを説明する まず、授業・学生生活で実行するよう促す		
3	偶然がつくる人生	意識の持ち方で見えるものが変わっていくことを説明する		
4	モノの見方	自分のモノの見方の特徴を把握する モノの見方を広くする方法について モノの見方を広くするための行動について モノの見方の難しさを再確認する		
5	就職活動の世界を知る	就職活動の心構えについて 就職活動の目的を考える 自分の何を伸ばすのかを考える 自分の中で補うポイントを把握する		
6	記憶をたどる	自分が過去に経験したことを振り返る 経験から身につけた自分の強みを明確にする		
7~ 8	自分を知る工夫	自分の特徴をアウトプットする 他者取材を通して表現の幅を広げる 他者の表現から学び取る力		
9~ 12	履歴書の書き方と伝え方	履歴書の左半分を書く上での注意点を解説する 履歴書を下書きをして清書するまでの作業を行う 志望動機以外の欄の下書きを作成する 自己紹介・趣味特技・特記事項を作成する 資格・免許・表彰を記入させる 志望動機以外の欄の清書を完成させる 志望動機の作成方法を解説する		
13	情報収集	業界研究と仕事研究 情報検索の方法		
14	興味がある仕事について	仕事内容と求める人材について調べる 自分の現状を課題と具体的行動を考える		

回	テ ー マ	内 容		
15	まとめ	今までの振り返り 履歴書の完成		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	熱血！森吉弘の就勝ゼミ教材 就職の手引き	課題・レポート	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータ実習Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	山村 恭子
授業の概要				
・情報化社会の現在、必須の能力とされているパソコンスキルを習得するため、パソコン演習を通し、パソコンの基本操作を学び、表計算ソフト(Excel)のデータ集計機能、グラフ作成機能、データベース機能を利用し、わかりやすい集計資料などの作成能力を養う				
授業終了時の到達目標				
・Excel表計算処理技能認定試験3級(サーティファイ) 合格 ・Excelを用いて簡単な集計表やデータベース、グラフを作成することができる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		・企業研修・国立大学・私立大学・専門学校・職業訓練校などでoffice全般指導 ・建築会社において営業事務兼CADオペレーターとして勤務(社内でofficeを使用しての表計算・社内・社外文書の作成・プレゼン資料の作成など)		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	・授業の目的、評価方法 Windowsの基本操作	※授業の目的と評価方法の説明 Windowsの概要、基本操作(アプリ操作、エクスプローラ)について理解する		
2	2. データの編集 3. 表の編集	絶対参照と相対参照、オートフィル 罫線、セルの書式設定、セルの配置、表示形式の設定、列幅や行の高さの調整、行や列の挿入と削除 ページの書式設定、文字の書式設定、字下げ、禁則処理、均等割付 ヘッダーとフッターの設定、印刷イメージの確認方法		
3	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1、2の問題1と問題2部分の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する 統計関数(COUNT関数・COUNTA関数) 数学/三角関数(ROUND関数・ROUNDUP関数・ROUNDDOWN関数) ワークシートの管理(シート名の変更)		
4	7. 関数 6. ブックの利用と管理	統計関数(RANK. EQ関数・RANK. AVG関数) 論理関数(IF関数・OR関数・AND関数) 日付関数(TODAY関数) ワークシートの管理、ウィンドウの操作		
5	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1、2の問題4部分の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する		
6	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題1、2の問題3、5部分の答練 4. ブックの印刷	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する ページ設定の変更、印刷の実行、印刷範囲の指定		
7	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級練習問題3の答練	練習問題を解くことで、今まで演習した部分の操作方法を習得する		

回	テーマ	内容		
8	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題1の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
9	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題2の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
10	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題3の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
11	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題4の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
12	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題5の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
13	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題6の答練	練習問題1セットを最初から最後まで解き完成させる 2, 3人で1グループを作成し、グループごとに操作が分からない生徒にわかる生徒が教え、グループ別に完成度を競わせる		
14	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級模擬問題7の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
15	Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 3級サーティファイHPからダウンロードしたサンプル問題の答練	試験と同じように時間をはかり採点することにより、模擬試験で問題に慣れ、正答率を高める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
Excel2016クイックマスター基本編(ウィネット) Excel表計算処理技能認定試験3級問題集(サーティファイ)		出席率 課題・レポート 確認テスト	20.0% 30.0% 50.0%	検定をもって期末試験とする 【授業準備】 テキストを読み予習しておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
サービス接遇講座Ⅲ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	10回	1単位(20時間)	必須	三村 梨恵
授業の概要				
サービス接遇検定準1級に合格する接客の基本スキルを身につける 接客の基本を学ぶことにより、ペット業界スタッフとしての業務をストレスなく行える力を習得する グループ練習を通して、多様性を理解し、協調性とコミュニケーション力を習得する				
授業終了時の到達目標				
サービス接遇検定準1級合格 社会人として必要な基礎的マナーを身につけ、使用できる(敬語・お辞儀) お客さまに好感を持たれる接客をする 他の模範となるような接客ができる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		一般企業で接客業(ショールームアドバイザー)として1年 トリマーとして18年の実務経験 接客業の経験をもとに、動物業界での接客に当てはめて、学生が実践しやすいような授業をする。		
時間外に必要な学修				
買い物や外食した際にスタッフの様子を観察し、良いものは取り入れる、悪いものは自分への教訓とする。 保護者や年長者と話して、社会についての知識を得る。 アルバイトをしている場合は、授業で学んだことをアウトプットする場とし、接客スキルを上げる。				
回	テーマ	内容		
1	授業内容オリエンテーション 検定概要について	授業の目的 検定概要 授業の進め方について 評価方法について 準備物について		
2	基本言動 接客応答	「基本言動」「接客応答」を理解する 検定の流れを理解する 基本言動 「いらっしゃいませ」 「ありがとうございました」 「はい、承知いたしました」 「いかがでございますか」 接客応答 「お客様、お忘れ物でございますが」 「お客様、お荷物をお預かりいたします」 「どうぞご自由にお持ちくださいませ」 「ご案内いたしますので、こちらへどうぞ」 「ご注文はお決まりになりましたでしょうか」 「こちらのお品物でよろしいでしょうか」		
3	基本言動 接客応答	グループ練習 タブレットで録画し、自分の動作を確認する お客様にどう見られているかを理解する		
4	接客対応	八百屋の店員になって接客をする お客様に合わせた接客ができるようになる		
5	練習	検定と同じレイアウトで練習する グループ練習 検定の流れを習得する タブレットで録画し、復習する		
6	練習	検定と同じレイアウトで練習する グループ練習 検定の流れを習得する タブレットで録画し、復習する		

回	テ ー マ	内 容		
7	確認テスト	1組確認テスト 2組グループ練習 2組はタブレットで撮影し、Google classroomに提出		
8	確認テスト	2組確認テスト 1組グループ練習 1組はタブレットで撮影し、Google classroomに提出		
9	期末テスト	1組期末テスト 2組グループ練習 2組はタブレットで撮影し、Google classroomに提出		
10	期末テスト	2組確認テスト 1組グループ練習 1組はタブレットで撮影し、Google classroomに提出		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
サービス接遇検定準1級受験ガイド（プリントにて配布） サービス接遇検定2級+準1級 集中レッスン&問題集（プリントにて配布） タブレット		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ペット美容学Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
座学 実技 実務経験 吉本 真紀: トリマーとして26年 これまでの経験を生かし授業を展開した同時にライセンス試験のための対策も行う。				
授業終了時の到達目標				
一般社団法人 全国動物専門学校協会 サロントリマー3級取得				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	プードルケネル&ラム	クリッパー実演		
3~5	プードルケネル&ラム講義	全体の切り方の注意事項の説明		
6~7	プードルマイアミ	絵を書く カットの説明		
8~9	プードルボレロマンハットン	絵を書く カットの説明		
10~11	サロントリマー3級試験対策	過去問題を解きながら対策		
12~13	今までのおさらい	仕事で使う事例でのおさらい		
14~15	スタンダードに基いて考えるトリミング	骨格などの説明		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKCドッググルーミングマニュアル		期末試験	100.0%	授業前に過去問題を復習すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トリミング実習BASIC I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	森, 野崎, 北村, 糸瀬, 三村
授業の概要				
1年次のグルーミング実習の復習とスピードアップ 部分的・簡易的な全身カットに必要な、トリミング技術を学ぶ				
授業終了時の到達目標				
ペット技能検定協会 トリマー2級合格 2時間以内にグルーミング作業を終わられるようになる				
実務経験有無	実務経験内容			
有	【実務経験】	吉本真紀 トリマーとして36年 森 純子 トリマーとして19年 三村梨恵 トリマーとして17年 北村俊也 トリマーとして5年 野崎真優 トリマーとして4年 糸瀬春奈 トリマーとして3年	豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる	
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~30	基礎	1年次の復習とスピードアップ 部分的なカットを学ぶ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
プロが教えるベスト・トリミング 最新 ドッググルーミングマニュアル 他		実習・実技評価	100.0%	【準備学習】 実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
トリミング実習BASICⅡ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	森, 野崎, 北村, 糸瀬, 三村
授業の概要				
グルーミングの基礎からさらにスピードをアップさせる				
授業終了時の到達目標				
グルーミングを2時間以内に終わらせる 部分カットができるようになる トリミングライセンス試験2級を目指す				
実務経験有無	実務経験内容			
有	【実務経験】	吉本真紀 トリマーとして36年 森 純子 トリマーとして19年 三村梨恵 トリマーとして17年 北村俊也 トリマーとして5年 野崎真優 トリマーとして4年 糸瀬春奈 トリマーとして3年	豊富な実務経験により様々な犬への対応などのサポート・指導をし学生のロールモデルとなる	
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~15	基礎	一人でどのような犬でもグルーミングができるようになる		
16~30	応用	一人でどのような犬でもグルーミングができるようになる		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
最新ドッググルーミングマニュアル		実習・実技評価	100.0%	【準備学習】 実習にあたりシザーの練習や美容学の復習をしておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物看護学Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
イヌ・ネコに携わる業務に就くにあたり、必要とされる動物のケアに関する知識・技術について学ぶ				
授業終了時の到達目標				
動物の状態変化に素早く気づき、応急的に対処できるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として21年の実務経験。これまでの臨床経験を活かし、分かりやすくイメージしやすいように授業を展開する		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	疾患について 皮膚	基礎的な皮膚疾患について理解する		
2	疾患について 皮膚2	基礎的な皮膚疾患について理解する		
3	疾患について 感覚器	基礎的な感覚器系疾患について理解する		
4	疾患について 感覚器2	基礎的な感覚器系疾患について理解する		
5	疾患について 消化器系	基礎的な消化器系疾患について理解する		
6	疾患について 寄生虫	基礎的な寄生虫関連疾患について理解する		
7	疾患について 寄生虫2	基礎的な寄生虫関連疾患について理解する		
8	疾患について 感染症	感染症について理解する		
9	疾患について 整形外科	基礎的な整形外科系疾患について理解する		
10	疾患について 呼吸器系	基礎的な呼吸器系疾患について理解する		
11	疾患について 循環器	基礎的な循環器系疾患について理解する		
12	疾患について 泌尿器	基礎的な泌尿器系疾患について理解する		
13	疾患について 生殖器	基礎的な生殖器系疾患について理解する		
14	疾患について 内分泌系	基礎的な内分泌系疾患について理解する		
15	期末試験	期末試験を実施する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テーマ	内容	
トリマーのためのベーシック獣医学（インターズー）		期末試験	100.0% 【事前学習】次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
繁殖飼育学		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
講義 実務経験 トリマー、ブリーダー歴26年の経験を生かして繁殖の心得と大事さを教える				
授業終了時の到達目標				
繁殖に関するモラルとノウハウを身につけ またペット業界の現状を知るため				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	繁殖とはなにか	ブリーダーとしての心構えを身につける		
2	血統書の作り方	血統書の価値をよく知ること		
3~ 4	繁殖の方程式を理解する	計画繁殖をするために		
5~ 6	交配に関して	交配の時期や交配の仕方について		
7~ 8	出産までの流れ	交配から出産直前までの流れを説明		
9~ 10	出産に関して	出産の立ち会い方		
11~ 12	子犬の健康維持について	生まれてきた子犬の管理方法の説明		
13~ 14	離乳期の飼い方	離乳食の与え方		
15	子犬の譲渡の仕方	子犬を人に譲渡するときの注意事項		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		期末試験	100.0%	事前学習 前回の授業の内容を熟読すること

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物飼養管理学Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	長尾 美花

授業の概要

動物飼養の理解と検定取得
 ・動物に関する法律・動物の習性・疾病・適切な飼養管理について学び、愛玩動物と人との共存を考える
 ・愛玩動物飼養管理士2級合格レベルの知識を身に付ける

授業終了時の到達目標

愛玩動物飼養管理士2級合格

実務経験有無	実務経験内容
有	動物看護師として21年の実務経験 多数の動物の看護飼養経験により学生がイメージしやすいよう授業を展開する。

時間外に必要な学修

次回の授業内容を踏まえてテキストや問題集を用いて予習する

回	テーマ	内容
1	愛玩動物飼養管理士の社会活動	公益社団法人日本愛玩動物協会の目的・事業 愛玩動物飼養管理士とは ボランティア活動のとらえ方
2	人と動物の関係学Ⅰ	人と動物のかかわり方を考える アニマルアドボケートとして 「動物観」とはなにか 日本人の動物観 海外の動物観 日本人とペットの歴史
3	人と動物の関係学Ⅰ	多種多様な動物愛護思想とその歴史 近代的動物愛護運動の始まり イギリス・アメリカの動物愛護運動 日本の動物愛護運動①
4	人と動物の関係学Ⅰ	日本の動物愛護運動② 現代の動物愛護とその思想
5	人と動物の関係学Ⅰ	利用目的により異なる関わり方 動物とのふれあいとその効用
6	動物関係法令概説Ⅰ	法令とは 動物関係法令の概要 動物の愛護及び管理に関する法律の概要
7	動物の愛護及び管理に関する法律	基本原則と飼い主の責任
8	動物の愛護及び管理に関する法律	動物の飼養及び保管に関する基準
9	動物の愛護及び管理に関する法律	動物取扱業
10	動物の愛護及び管理に関する法律	虐待等罰則 特定動物
11	動物の愛護及び管理に関する法律	動物愛護週間と普及啓発 動物愛護推進員と動物愛護推進協議会
12	動物の愛護及び管理に関する法律	犬や猫の引き取りと不d小動物の収容 周辺的生活環境の保全等

回	テ ー マ	内 容
13	飼育動物と関係法令	狂犬病予防法 身体障害者補助犬法
14	飼育動物と関係法令 野生動物と関係法令	ペットフード安全法 鳥獣法
15	ペット業界の現状と広がり	ペット業界の歴史 ペット業界の現状とこれからの課題

回	テーマ	内容		
16	動物の体の仕組みと働き	からだの基本の仕組み		
17	動物の体の仕組みと働き	栄養を取り入れる		
18	動物の体の仕組みと働き	酸素を取り入れる		
19	動物の体の仕組みと働き	老廃物の排出、異物の撃退と解毒		
20	動物の体の仕組みと働き	情報を取り入れる		
21	動物の体の仕組みと働き	体内の情報伝達		
22	動物の体の仕組みと働き	子供を産み育てる		
23	試験対策	課題報告問題を解く		
24	期末試験			
25	動物の飼養管理総論	動物の適正な飼養管理 動物の健康増進と疾病予防		
26	動物の飼養管理総論	環境衛生 飼養衛生		
27	動物の飼養管理総論	ペットのケガや事故への対応 災害に備える 血統書		
28	動物の飼養管理総論	動物取扱業 動物の繁殖		
29	動物の飼養管理各論	犬の飼養管理①		
30	動物の飼養管理各論	犬の飼養管理②		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
愛玩動物飼養管理士 2級教本		期末試験	100.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物飼養管理学Ⅲ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	長尾 美花
授業の概要				
動物飼養の理解と検定取得 <ul style="list-style-type: none"> 動物に関する法律・動物の習性・適切な飼養について学び、愛玩動物と人との共存を考える。 愛玩動物飼養管理士2級合格レベルの知識を身につける 				
授業終了時の到達目標				
愛玩動物飼養管理士2級合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		動物看護師として21年の実務経験 多数の動物の看護飼養経験により学生がイメージしやすいよう授業を展開する。		
時間外に必要な学修				
次回の授業内容を踏まえてテキストや問題集を用いて予習する				
回	テーマ	内 容		
1	動物の飼養管理	猫の飼養管理①		
2	動物の飼養管理	猫の飼養管理②		
3	動物の飼養管理	その他の哺乳類の飼養管理①		
4	動物の飼養管理	その他の哺乳類の飼養管理②		
5	動物の飼養管理	鳥類の飼養管理①		
6	動物の飼養管理	鳥類の飼養管理②		
7	動物の飼養管理	鳥類の飼養管理③		
8	動物の飼養管理	爬虫類の飼養管理		
9	動物の飼養管理	動物の栄養と食事		
10	動物の飼養管理	高齢動物の取り扱い 動物の保定法		
11	動物のしつけ	学習理論		
12	動物のしつけ	犬と猫の社会化		
13	動物のしつけ	犬のしつけの基本		
14	動物のしつけ	猫のしつけの基本		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テーマ	内 容	
	愛玩動物飼養管理士 2 級教本	期末試験 確認テスト 出席率	30.0% 60.0% 10.0%

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	
しつけトレーニング実習Ⅲ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/前期	実習	
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分	45回	3単位(90時間)	必須	村尾智, 藤原	
授業の概要					
犬の集中力・正確さをやしなう					
【実務経験】 トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること					
授業終了時の到達目標					
試験に合格する					
実務経験有無		実務経験内容			
時間外に必要な学修					
回	テーマ	内 容			
1~10	クリッカー集中	集中力アップ			
11~20	脚側行進中の伏臥	正しい位置での伏臥			
21~30	脚側行進中の停座	正しい位置での座れ			
31~45	通しの練習	試験の練習			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
		期末試験	100.0%	【準備学習】テキストを読んで予習をしておく	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	
しつけトレーニング実習Ⅳ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/後期	実習	
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分	45回	3単位(90時間)	必須	村尾智, 藤原	
授業の概要					
警察犬訓練・セラピー活動での珍芸を覚える 【実務経験】 トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること					
授業終了時の到達目標					
他人の臭いを嗅ぎ分ける・珍芸を披露できる					
実務経験有無		実務経験内容			
時間外に必要な学修					
回	テーマ	内 容			
1~14	臭気選別	基礎を学ぶ			
15~29	臭気選別(他人)	他人の臭いをあてる			
30~39	臭気選別(0回答)	答えが無くても帰ってくる			
40~45	珍芸	オリジナルの芸を教える			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
		期末試験	100.0%	【準備学習】テキストを読んで予習をしておく	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態	
アジリティ実習Ⅲ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/前期	実習	
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員	
90分	30回	2単位(60時間)	必須	村尾智, 藤原	
授業の概要					
アジリティを理解する 【実務経験】 トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること					
授業終了時の到達目標					
基礎的なコースを走れる					
実務経験有無		実務経験内容			
時間外に必要な学修					
回	テーマ	内 容			
1~15	スラローム・ハードル・トンネル	個別に練習			
16~30	検分・コース	簡単なコースを走る			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他	
		期末試験	100.0%	【準備学習】テキストを読んで予習をしておく	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アジリティ実習Ⅳ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	村尾智, 藤原
授業の概要				
アジリティをすべて知る 【実務経験】 トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること				
授業終了時の到達目標				
競技大会に参加可能レベルまで、アジリティの精度を高める				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~9	タッチ障害	シーソーなど		
10~19	タッチ障害とハードル	組み合わせ		
20~30	1度レベルのコース	総合		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		期末試験	100.0%	【準備学習】テキストを読んで予習をしておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
動物機能形態学		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
講義 実務経験 トリマーハンドラーブリーダー歴28年の実務経験を生かして犬の見極め方を養う				
授業終了時の到達目標				
犬の選び方を見極めれるようになるため				
実務経験有無		実務経験内容		
		JKC単犬種審査員の資格経験を活かし 学生の見本になれるようにする		
時間外に必要な学修				
実習の時によく犬を観察する				
回	テーマ	内 容		
1	AKCグループ分けと犬の構成の基礎	犬の骨の角度の大事さを学ぶ		
2	スポーティンググループ	鳥獵犬の体の特徴を学ぶ		
3	スポーティンググループ2	スパニエル系の特徴を学ぶ		
4	ハウンドグループ	ハウンドの体の特徴を学ぶ		
5	ワーキング・グループ	超大型犬の体の特徴と歴史を学ぶ		
6	テリアグループ	長脚テリアの特徴を学ぶ		
7	テリアグループ2	短脚テリアの特徴を学ぶ		
8	ハーディンググループ	牧羊犬の特徴を学ぶ		
9	ハーディンググループ2	コーギーなどの特殊犬種を学ぶ		
10	ノンスポーツグループ	ビションなどの特徴を学ぶ		
11	トイグループ	トイプードルやパピヨンなどの特徴を学ぶ		
12	ジャッジング学	プードルの見極め方		
13	ジャッジング学2	シュナ、ダックスの見極め方		
14	ジャッジング学3	シーズーの見極め方		
15	まとめ			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他

回	テ ー マ	内 容	
犬種標準図鑑	期末試験 出席率	90.0% 10.0%	事前学習 学校犬 を常に観察して 犬の違いを感覚で わかるようにする

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ハンドリング学Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	吉本 真紀
授業の概要				
試験ととの同じ科目を練習する。 人の練習でもあるが犬に科目を教えることが目的である。				
実務経験 ハンドラー歴28年の経験を生かしてし試験対策する				
授業終了時の到達目標				
JKCハンドラーC級				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1~15	ハンドラー試験に向けて試験方式で実技する。	犬が覚えるまで繰り返し練習する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKCハンドリングマニュアル		実習・実技評価	100.0%	事前学習 犬に慣れてもらう ように常にスキ ンシップをとる

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
問題行動学 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
実践的に問題行動に取り組む 【実務経験】 トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること				
授業終了時の到達目標				
様々な飼い主からの相談に答えられる知識を持つ				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~4	問題行動とは	問題行動についての基礎知識習得		
5~15	実際の治療	実際の飼い主から話を聞いて治療		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
JKC訓練基本マニュアル		期末試験	100.0%	【準備学習】テキストを読んで予習をしておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
問題行動学Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	村尾 智
授業の概要				
色々な問題行動について 【実務経験】 トレーナーとして25年の実務経験 これまでのトレーナーとしての実績を活かし学生のロールモデルとなること				
授業終了時の到達目標				
様々な飼い主からの相談に答えられる知識を持つ				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1~5	系統的脱感作用	雷など		
6~10	例題	色々な問題を解決する		
11~15	総合	飼い主に教えるためには		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		期末試験	100.0%	【準備学習】テキストを読んで予習をしておく

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
AAA実習 I		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/前期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	齋藤小, 長尾
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物介在活動の意義を理解する ・よりよい活動方法を考える 				
授業終了時の到達目標				
■通年到達目標とする <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズなコミュニケーションが取れるようになる ・動物を介して、よりよい活動を工夫することができるようになる ・活動による色々な変化に着目し、考えることができるようになる 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	動物看護師として12年の実務経験。 これまでの臨床経験を活かし、動物を介しての人との関わり方を指導する			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~2	アニマルセラピーとは	アニマルセラピーを理解する		
3~15	AAA実習	デイサービス、グループホーム、幼稚園におけるAAA実習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アニマルセラピー入門		出席率 実習・実技評価	50.0% 50.0%	【事前準備】セラピーに連れて行く 担当犬の衛生管理 (シャンプー、レクリエーション準備)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
AAA実習Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/後期	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	齋藤小, 長尾
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・動物介在活動の意義を理解する ・よりよい活動方法を考える 				
授業終了時の到達目標				
■通年到達目標とする <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズなコミュニケーションがとれるようになる ・動物を介してよりよい活動を工夫することができるようになる ・活動による色々な変化に着目し、考えることができるようになる 				
実務経験有無	実務経験内容			
有	動物看護師として12年の実務経験。 これまでの臨床経験を活かし、動物を介しての人との関わり方を指導する			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1~15	AAA実習	デイサービス、グループホーム、幼稚園におけるAAA実習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アニマルセラピー入門		出席率 実習・実技評価	50.0% 50.0%	【事前準備】セラピーに連れて行く 担当犬の衛生管理 (シャンプー、レクリエーション準備)

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
社会人基礎講座Ⅱ		動物健康管理学科しつけインストラクター専攻/2年	2025/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	林 勇樹
授業の概要				
専門学校での学習の意味を理解し、進路を決定する際に必要な知識とスキルを身につける。就職活動に必要な知識・技術を学び習得する。				
授業終了時の到達目標				
自己PRや志望動機など履歴書に必要な項目を自ら考えて表現することができる。また、随時改善していくことができる。 実際の就職活動を想定し、各が自主的かつ効果的に活動することができる。				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
企業情報、求人情報等の習得等				
回	テーマ	内容		
1	後期オリエンテーション 就職研修の振り返り	就職活動に対する再確認、就職研修の自己評価		
2~3	文章の書き方と構成の仕方	「伝えたいことがある」から文章を書く 一度読んだだけで理解できるように文章を書く 「事実」と「解釈」を分けて書く 要点を押さえる、キャッチコピーの作り方		
4~5	自己PRを書く	自己PR4の基礎を押さえる、 「3つの話題」、「3つの問い」、「20答法」 10のステップ		
6~7	志望動機を書く	志望動機と志望理由、ゴールデンサークル理論、 スパイダー・ダイアグラム、モチベーショングラフ		
8~9	学生時代に力を入れたことを書く	書く要素を知る、STAR法、結果よりもプロセス		
10	プレゼンの基本と応用	ロサダの法則、プレゼンテーションとは、 手の動きが相手に与える印象、緊張≠コンプレックス		
11~12	ディスカッションの基本と応用	ディスカッションの心得、2つの約束事、形式と流れ、 グループディスカッション、 ノンバーバルコミュニケーション		
13	面接の基本	礼儀作法、声・視線・ボディランゲージ、 身だしなみ、よく聞かれる質問、面接の評価		
14	オンライン面接・ディスカッション	対面式・ハイブリッド型・ハイフレックス型、 オンラインの特徴、伝え方の基本		
15	まとめ・振り返り	自己評価、プレゼンテーション		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
熱血！森吉弘の就活ゼミ教材 就職の手引き		課題・レポート	60.0%	
		出席率	40.0%	